

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	作成者	役職	まち整備課長
		04-05-17		氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
-----------------------	----------------------------

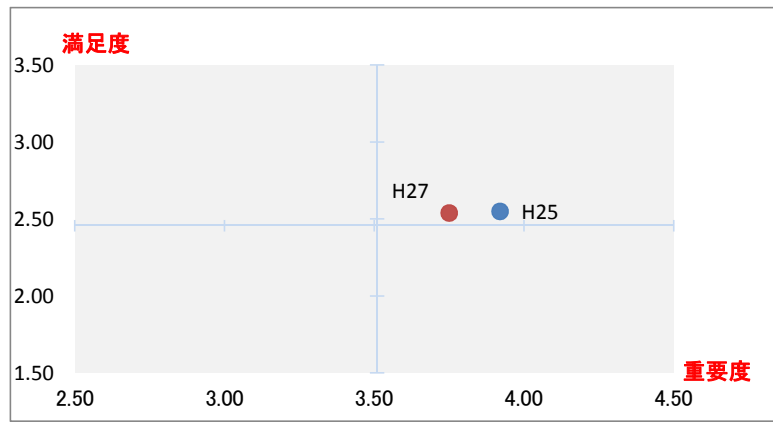
この施策の 平成26年度の 施政方針	-
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画（中項目）	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮により大災害を受けたが、国・県・市及び地域住民が一体となって災害復旧と防止事業に取り組み、一定の成果をあげることが出来た。しかし、まだ多くの箇所が自然護岸や老朽石積等未整備箇所があることから、今後、国・県の協力を得て、計画的な河川整備を図り、再び災害を受けることのないよう万全の対策をとることが必要である。また、急傾斜地や土石流危険渓流のうち、法の未指定地については新たに区域指定を受け、整備していく必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川については、年次的な改修を県に要望していく。 市管理河川の年次的・計画的な整備を促進する。 急傾斜地崩壊対策事業については県事業として整備が進められているが、未整備箇所や整備済みの箇所でも老朽化に伴う改修が必要な箇所もあることから、危険度の高い箇所から対策工事などの実施を県に要望する。 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.92	3.75
満足度 (%)		2.55	2.54



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	災害対策に直結することから、要望が多く重要度も高いといえるが、未整備箇所・要望箇所の多さに対して整備が追いついていない状況が調査結果に顕れているものと思える
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
河川改良箇所	目標 箇所	8	8	9	年度ごとの改良箇所数	H27	9	
	実績 箇所	8	6	10		H28	9	
	達成率 %	100.0	75.0	111.1		H34	10	
	ベンチマーク					-	-	
市民からの要望への対応	目標 %	70.0	70.0	70.0	改良・修繕箇所数/要望箇所数 10+29/55	H27	75.0	
	実績 %	70.0	68.0	71.0		H28	75.0	
	達成率 %	100.0	97.1	101.4		H34	85.0	
	ベンチマーク					-	-	
河川清掃ボランティア参加団体数	目標 団体	20	20	20	参加団体数を増やす	H27	20	
	実績 団体	15	15	16		H28	20	
	達成率 %	75.0	75.0	80.0		H34	30	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標③	目標					H27		
	実績					H28		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク					-	-	

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	河川改良箇所は、災害防止のため整備を進めて行くうえで直接成果を表す指標。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	他に適当な手法はなく妥当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めていく。	
進行年度(H27年度)の取組内容 (課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に進めていく。県管理河川についても改修要望と調整を十分に行い早期完成を目指す。また溢水、破堤など危険箇所の局所改修を優先的に実施するとともに、土砂堆積の著しい河川について浚渫を実施できるよう浚渫土の処分場所確保の調整を進めていく。	
翌年度(H28年度)の取組目標		引き続き継続中の改修工事を進めていくとともに、県管理河川についても早期完成を目指し強力に要望していく。ボランティアや地元関係者と連携し、現状の把握や適切な維持修繕に努める。また浚渫土の処分場所の建設に着手できるよう準備を進めていく。	
二次評価者コメント		防災面からの計画的且つ継続的な施設改修を促進するとともに、継続事業としての香登川の早期整備、地区要望の多い河川浚渫工事实施の要件整備を進めて下さい。施設管理におけるボランティア団体の参加については、経費の削減と住民意識向上の点でもメリットが多く、今後も全市民的な協力を得られるように努めてください。	基本施策への 貢献度 4 やや高い
役職	まちづくり部長		
氏名	高橋 昌弘		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)										施策への 貢献度
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 県河川維持管理事業	樋門等管理委託事務	補助	381	0	0.00	381			383	94	0.03	382	☆☆☆☆
	吉井川下流改修促進協力会負担金	単市	29	106	0.01	27			18			29	☆☆☆
	ダム所在市町村全国協議会負担金	単市	4	0	0.00	4			4			5	☆☆
	河川維持管理要望事務	単市	0	265	0.03		79	0.01					☆☆☆☆
02 河川改良事業	河川改良事業	補助	46,126	5,765	0.78	62,523	3,264	0.50	61,327	4,008	0.57	73,446	☆☆☆☆☆
03 河川維持管理事業	河川維持管理事業	単市	13,849	2,261	0.32	7,386	689	0.10	15,107	1,152	0.16	12,080	☆☆☆☆
04 急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金	単市	0	79	0.01		94	0.01				1188	☆☆☆
	急傾斜地崩壊対策事業要望事務	単市	0	564	0.06	3,412	278	0.03		313	0.07		☆☆☆
05 災害復旧事業	災害復旧事業	法定	17,461	1,948	0.31	10,715	1,836	0.24	2,044	1,823	0.25	0	☆☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			77,850	10,988	1.52	84,448	6,240	0.89	78,883	7,390	1.08	87,130	

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目 基本目標	04	土台となる政策「安全・安心」			問 担当課(室)	まち整備課
	中項目 基本施策	05	安全に暮らせるまち				
	小項目 施策	17	河川改修・砂防施設整備				
事務事業名		01	県河川維持管理事業			合 職・氏名	管理係長 中野智子
						電 話	0869-64-1833
		このシート作成に要した時間					2.5 時間

事業の目的		Plan	
対 象 (誰・何に対して)	県管理河川地域住民		
目 的 (何のために)	県管理の樋門等の管理を委託し住民の安全を図る		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	災害時等の被害を最小限にしたい		

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	樋門等管理委託事業	県施設の樋門の管理	◎
	吉井川下流改修促進協力会負担金	河川管理協市町村負担金	△
	ダム市町村全国協議会負担金	ダム管理市町村負担金	△
	河川維持管理要望事務	河川管理の要望	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	468	414	405
	必要人員	人	0.10人	0.04人	0.01人
	事業費	千円	1,400	785	484
財源	国	千円			
	県				
	支				
	出				
	金				
一般財源	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	債 権				
受 益 者 負 担 比 率	%	1,400	785	484	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	樋門等設置箇所	説明			
	結果指標量		18	17	17
	対前年比	%	-	94.4%	100.0%
	活動コスト	円	1,400,000	785,000	484,000
	単位当たりコスト		77,778	46,176	28,471

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		成果指標名					年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
総合計画	苦情処理件数	目標値 (A)		1	0	0	0				
		実績値 (B)		1	0	0	到達目標値				
		達成率 (B/A)		100.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	0				
成果指標設定の考え方・式や説明											
苦情連絡件数 (B) / 苦情連絡対応処理件数 (A)											

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	
	必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度			C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度 (H27年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
説明		樋門の一部において老朽化が激しい。操作性及び機能維持のため補修を県に要望する。							

総合評価		Action	
地域住民が安心して生活するために樋門の管理は必要であり、今後も引き続き管理していかなければならない。		総合評価	C
		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成28年度の方向性・取組目標		Action					
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標		次年度以降も引き続き要望していく。					

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成23年度～	根拠法令・例規等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法
総合計画	大項目	基本目標	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室) まち整備課 合 職・氏名 土木係長 岡村 悟 先 電 話 0869-64-1835 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本施策	05	安全に暮らせるまち	
	小項目	施策	17	河川改修・砂防施設整備	
事務事業名		05		災害復旧事業	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市が管理している施設で災害により被災した河川・道路	
目的(何のために)	台風等の大雨により被災した箇所の早期復旧を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	災害箇所の早期復旧を図る。	

事業の実績			Do
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	災害復旧事業	台風等により被災した河川や道路を原形復旧を基本として災害復旧を行なう。	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
事業費	直接事業費	千円	17,461	10,715	2,044	
	必要人員(人)費	千円	0.31人	1,948	0.24人	1,836
	事業費	千円	19,409	12,551	3,867	
決算額	国県支出金	千円	4,373	1,534	2,057	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
	市債	千円			600	
	その他()					
一般財源		15,036	11,017	1,210		
受益者負担比率	%					

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明	工事箇所1箇所当りの活動コスト		
	対前年比	%	44	35	1
	活動コスト	円	19,409,000	12,551,000	3,867,000
	単位当たりコスト	円	441,114	358,600	3,867,000

事業の成果						(平成26年度事業)
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
早期復旧した箇所数(復旧率)	目標値(A)	100	100	100	100	
	実績値(B)	83	100	100	到達目標値	
	達成率(B/A)	83.00%	100.00%	100.00%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
当該年度復旧箇所数/災害箇所数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度		B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	26年度は1件の公共災害が発生したが、当該年度で完了した。今年度も災害が発生したら早期復旧に努める。						

総合評価		総合評価
今年度も協議を含めて早期復旧に努める。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	災害が起きたときに早急に対応ができるように準備を整えておく必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Action